

「20年ぶりに新紙幣発行」

20年ぶりに新しい紙幣が今年7月3日に発行された。紙幣のデザインの変更は、2004年以来、20年ぶりだ。

新しい紙幣は、一万円札が「近代日本経済の父」と呼ばれる^{しぶさわえいいち}渋沢栄一、五千円札は日本で最初的女子留学生としてアメリカで学んだ^{つだうめこ}津田梅子、千円札は^{はしょうふう}破傷風の治療法を開発した^{さいきん}細菌学者の^{きたさとしばさぶろう}北里柴三郎の肖像がデザインされることになった。

紙幣のデザインの変更は、偽造防止の強化と誰でも利用しやすいユニバーサルデザインの導入が目的だ。発行の開始までに、金融機関のATMや大手コンビニのレジなどでは、更新作業は、ほぼ完了するということだ。

しかし、その一方で、飲食店の食券の券売機など変更作業が出来ず、対応が間に合わないケースも相次いでいる。

このため、飲食店などに券売機を販売する会社では、駆け込み需要による品薄で、納品まで少なくとも3か月ほどかかり、機種によっては、およそ半年かかるものもあるという。

また、費用の負担が大きいことも理由だ。あるそば店では券売機の更新に最大300万円かかるということとで、しばらく見送ることにしたそうだ。

このような店などでは、新しい紙幣は、今の紙幣と交換する形で対応するほか、すでに導入しているキャッシュレス決済を進めることにしている。

今使われている紙幣は、新しい紙幣の発行後も引き続き期限なく使用することができる。

政府は、詐欺などに注意するよう呼びかけている。

参考：「20年ぶり新紙幣の発行まで1か月 更新作業が間に合わない業界も」2024年6月3日/NHK NWES WEB

「20年ぶりの新紙幣きょう発行 午前中に手にできる金融機関も」2024年7月3日/NHK NWES WEB

1) ニュースの内容に合っているものには○、間違っているものには×を書きなさい。

- ① () 今の紙幣は20年前に作られた。
- ② () 券売機の変更は、新しい紙幣の発行前までにどの銀行や店などでも対応できる。
- ③ () 今使われている紙幣は、新しい紙幣が発行されたら使うことができなくなる。
- ④ () 政府は新しい紙幣が発行されたら詐欺などに注意してほしいと言っている。

2) 紙幣のデザインの変更の目的は何ですか。2つ書きなさい。

3) 飲食店などで、自動販売機の更新完了ができない理由は何ですか。2つ書きなさい。

4) このような店とは、どのような店ですか。

5) 自動販売機の更新完了ができない飲食店などでは、どのように対応する予定ですか。2つ書きなさい。

6) 今、使われている紙幣は今後どうなりますか。